

# 五月の風と光はモーツアルトの香りがする。

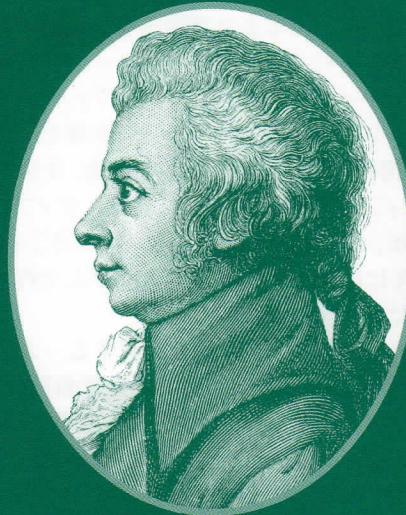
モーツアルトの交響曲・全52曲を10年かけて演奏する壮大なプロジェクト、第4回目は前期、中期、後期とそれぞれの時代のモーツアルトの喜び、悩み、熱い想いを奏でます。



芸術監督：横島 勝人

ファゴット独奏：花田 房宣

管弦楽：松本モーツアルト・オーケストラ



第4回

## モーツアルト交響曲 全曲演奏会

### ◆ PROGRAM ◆

- ♪ 交響曲 第12番 ト長調 KV110 (75b)
- ♪ 交響曲 第26番 変ホ長調 KV184 (161a)
- ♪ 交響曲 第38番 「プラハ」 ニ長調 KV504
- ♪ ファゴット協奏曲 変ロ長調 KV191 (186e)

2009年5月10日(日)

◆ 開場 / 14:00 ◆ 開演 / 14:30

会場：ザ・ハーモニーホール  
松本市音楽文化ホール（小ホール）

入場料：2,000円(全席自由)

主 催：モーツアルト交響曲・全曲演奏会 実行委員会

共 催：長野県松本深志高等学校音楽部志音会・松本室内合奏団・松本交響楽団・安曇野シンフォニー楽友会・松本あづみの音楽祭

特別協賛：(株)市民タイムス

後 援：松本市・松本市教育委員会・塩尻市・塩尻市教育委員会・安曇野市・安曇野市教育委員会・(社)才能教育研究会・信濃毎日新聞社  
SBC信越放送・NHK長野放送局・長野エフエム放送・(財)八十二文化財団

チケット取扱い：井上ブレイガイド、カタクラモールブレイガイド、クレモナ、(株)ミュージックプラザ・オグチ、(株)コダマ楽器、チケマ楽器

\*お問い合わせ：090-2531-6081(牛山正博)

# PROFILE

プロフィール

## 芸術監督：横島 勝人 Katsuto Yokoshima

大阪生まれ。9歳よりピアノを始める。大阪音楽大学在学中より指揮活動を開始、同大学卒業後も1990年まで高槻市音楽団の常任指揮者を務める。

1990年ウィーン留学、その後ウィーン国立音楽大学指揮科に入学。同大学教授、レオポルド・ハーガー、ペーター・シュヴァルツ、同大学助教授、湯浅勇治の各氏に師事。

1990年ウィーンマイスタークラス指揮セミナー、1996年ハンガリー国立セゲド交響楽団主催指揮セミナーにそれぞれ参加。ユリウス・カルマー、リヒャルト・シューマッヒャー、エルヴィン・アッチャエル各氏に師事。ディプロマを取得、演奏会指揮者にも選ばれる。

1996年、ボルトガルで行われたリスボン国際指揮者コンクール、セミファイナリスト。

1998年にはオランダ・アムステルダムで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールにてベスト8に選ばれる。

1998年より日本での活動を再開する一方、1999年には、ウィーン楽友協会ホールでのトーンキュンストラー交響楽団との演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番を指揮、大成功をおさめウィーンデビューを飾る。

これまでに、大阪フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、京都市交響楽団等を指揮。2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトI、II、III、においてアシスタント及び合唱指揮を務める。モーツアルト生誕250年にあたる2006年3月、7月には松本室内合奏団でオールモーツアルトプログラムを指揮し、それが縁でモーツアルトの交響曲全52曲を10年かけて演奏するという「モーツアルト交響曲・全曲演奏会」を結成し芸術監督に就任する。第1回の演奏会を2008年3月、第2回を8月、第3回を2009年2月に開催、松本モーツアルト・オーケストラを指揮し好評を博した。

海外においては、これまでにハンガリー国立セゲド交響楽団を始め、フランス国立リール交響楽団、オランダ放送管弦楽団、フランス・グルノーブル管弦楽団等を指揮している。2001年、ウィーン郊外アイゼンシュタットのエスターハーディー城内ハイドンザールにて、ハイドンのオラトリオ“天地創造”を指揮する。2003年にはプラハの春音楽祭のメイン会場であるスマタナホールにて、プラハ放送交響楽団を指揮、好評を博し、地元の音楽関係者からも絶賛される。2005年7月、ドイツライプツィヒでのチャリティ・コンサートに出演。ニコライ教会でバッハ「口短調ミサ」を、ゲヴァントハウスでベートーヴェン「第九」を指揮。2006年9月、10月にはウィーンとプラハでモーツアルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会を指揮、絶賛を博した。

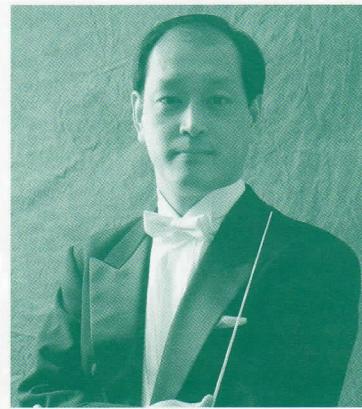


Photo:Masahige Ogata

## ファゴット：花田 房宣 Fusanobu Hanada

福岡県柳川市生まれ。信州大学入学と同時に信州大学交響楽団に入団、ファゴットを始める。1995年1月松本室内合奏団に入団し、現在に至る。

新日本フィルハーモニー交響楽団ファゴット奏者の佐久間大作氏に師事。

県内のアマチュアファゴット吹きのネットワーク「信州まきたばの会」メンバー。

会の活動を通じ、会代表で長野県出身のプロ奏者山上貴司氏、元NHK交響楽団首席奏者霧生吉秀氏の指導を受ける。

モーツアルト生誕250年にあたる2006年3月には、横島勝人氏の指揮による松本室内合奏団第33回定期演奏会においてモーツアルト作曲「管弦楽のための協奏交響曲」をソリストとして共演し、好評を博した。松本モーツアルト・オーケストラには結成時より参加。2008年8月転勤となるものの、現在も週末の音楽活動拠点を松本に置く。岐阜県在住、会社員。



## 管弦楽：松本モーツアルト・オーケストラ Matsumoto Mozart Orchestra

2007年12月、モーツアルト交響曲・全52曲を10年かけて演奏するという壮大な計画がもちあがり、そのための管弦楽団として松本室内合奏団、松本交響楽団のメンバーをはじめ音楽を愛する意欲ある演奏家たちで結成される。コンサートマスターは才能教育指導者であり松本室内合奏団長の牛山正博氏が務める。

2008年3月2日に第1回、8月10日に第2回、2009年2月8日に第3回のモーツアルト交響曲・全曲演奏会を横島勝人氏の指揮で演奏し好評を博した。長期間にわたる遠大な計画のため、演奏会に参加する若手の演奏家も募っている。

♪次回演奏会のご案内♪

## 第5回 モーツアルト交響曲・全曲演奏会

2009年8月9日(日) 14:30 開演 会場:才能教育会館ホール

<曲目>

交響曲 二長調 KV 81 (731)

交響曲 第29番 イ長調 KV 201 (186a)

交響曲 第37番 ト長調 KV 444 (425a) 他